

「徳島堰を拓く」

1. 活用資料・展開例に対応する学指導要領小学校社会第3学年及び第4学年の目標と内容

目標

- (2) 地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし，地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察，調査し，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，調べたことを表現するとともに，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。

内容

- (5) 地域の人々の生活について，次のことを見学，調査したり年表にまとめたりして調べ，人々の生活の変化や人々の願い，地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えられるようにする。

ア 古くから残る暮らしにかかわる道具，それを使っていたころの暮らしの様子

イ 地域に残る文化財や年中行事

ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

内容の取り扱い

- (4) 内容(5)のウの「具体的事例」については，地域の開発，教育，文化，産業などの発展に尽くした先人の中から選択して取り上げるものとする。

2. 県史アンケート結果と対応する活用資料の項目

- | | |
|-----------|------------------|
| ・水害・治水 | ・地域の発展に尽くした先人の業績 |
| ・地域に残る文化財 | ・甲府空襲 |
| ・戦時下の暮らし | ・戦国武田三代 |
| ・甲斐源氏 | ・身延山と日蓮 |
| ・幕末・維新の山梨 | ・天保郡内騒動 |
| ・富士川舟運 | ・甲府城・城下町 |

3. 徳島堰に関わる『山梨県史』

通史編3・近世1

口絵(写真) 10 徳島兵左衛門夫妻の墓(南アルプス市了円寺)

11 徳島堰開削を継承した矢崎又右衛門の墓(南アルプス市行善寺)

12 徳島堰 13 徳島堰開削成就を祈願して建立された了円寺(南アルプス市)

14 矢崎又右衛門の生家(南アルプス市)

表7-8 『甲斐国志』にみえる堰 p p859~861

表7-9 新居・新田・新町等地名 p865

表7-10 宝暦高帳よりみた筋別高増加の様子 p867

表7-11 村高増加状況(1) p868

徳島堰の開削(文書) p p877~881

4. 展開例

第4学年社会科 「徳島堰を拓く」

1) 指導計画(全18時間)

1次 徳島せぎに目を向けよう(3時間)

- 1時 南アルプス市 白根地区の名物は? サクランボ・モモ・けやき・かき
水の少ないこの地域でくだものづくりが盛んになったのはなぜか?
- 2時 観光農園をやっている家の子の農園のようすの紹介
お手伝いの仕方, 水はスプリンクラーで得ている
スプリンクラーは徳島せぎから水を引いているんだ 貯水池の存在
- 3時 徳島せぎはどんなせぎ
エピソードを語る 桜のお花見, 白根源小の方にあるよ
もっと, 詳しく徳島せぎのことを調べよう

2次 徳島せぎについて調べよう(8時間)

1・2・3・4時

グループごとに自分の課題を持って徳島せぎのことを調べる

- ・どこから, 水を取り入れているか? どのくらいの長さ?
- ・徳島兵左右衛門や矢崎又右衛門のこと
- ・つくり方・つくるのに使った道具
- ・せぎが通って人々のくらしがどうか変わったか?

自分の興味に応じて調べ模造紙にまとめる

5時 明治時代の地図を色塗りをして, 徳島せぎをたしかめる

6時(本時) どうやって御勅使川に徳島せぎを渡らせたのであろう

7・8時 ゲストティーチャーに聞いてみよう(南アルプス市文化財課の方々)

徳島せぎ, 将棋頭などの話を聞いたり, 今まで自分たちが調べたり, 授業を行ってきた疑問に思ったことを聞いたりする。

御勅使川の治水の史跡にも目がむいてくる

3次 徳島せぎや御勅使川の史跡を見学に行こう(5時間)

1・2・3・4・5時

徳島せぎ・・・円野取水口・妙浄寺・矢崎又右衛門の家・徳島せぎ・あんきょ・小将棋頭
御勅使川の史跡・・・石積み出し・将棋頭・堀切・信玄堤

4次 徳島せぎや御勅使川の史跡を守っていくために(2時間)

1時 見学に来てきた感想を書き, お互いに交流し合おう

2時 これから徳島せぎや御勅使川の史跡をどうしていくのがよいか?話し合う

2) 本時の展開 (全 18 時間中 9 時間目)

目標 徳島兵左衛門が徳島堰を交差する御勅使川のところで、どのように工事を進めていったかを先人の立場になって話し合うことにより、徳島堰の工事を進める上での工夫を知るとともに、原七郷など水が貴重な地域に住んでいた人たちの徳島堰に対する想いや願いを考えることができる。

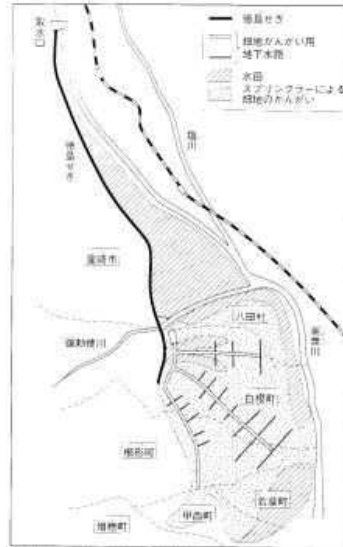
選	学習の流れ	提示史料	児童の活動
つ か む 10 分 予 想 す る 10 分 考 え る 15 分 深 め る 10 分	<p>徳島堰はどんな堰? 徳島兵左衛門が水がなくてこまっている人々を助けるために釜無川から水を引いてつくった堰だということを前時を振り返りながら、確認する。</p> <p>地図を見て気づくことはないかな? 取水口の場所、堰がどこを流れているかを確認しながら、御勅使川を横切っていることに気づく。</p> <p>兵左衛門は暴れ川といわれる御勅使川をどうやって横切らせたのだろう? 描画など具体的な作業を通し、子ども自身が兵左衛門の立場になって、御勅使川をどうやって横切らせるのか予想する。</p> <p>その後意見を交換し合い、友達などの多様な考えを知る。</p> <p>県史の中にはどうかいてあるかな? 一間四方の板 320 枚を使った板せきを使って水を通したことを知る。</p> <p>今日の授業の感想をかこう 徳島兵左衛門の知恵や工夫、原七郷に住む人たちの徳島堰に対する想いや願いに気づいていく。</p>	<p>史料 通史編 3 近世 1 口絵 10 徳島堰 パワーポイントで映す 史料 『私たちの山梨』p76 図・かいしゅうしてからのかんがいのようす</p> <p>史料 通史編 3 近世 1 p878 の文章 史料 『私たちの南アルプス市』p125 図・板せき 史料 『私たちの山梨』p76 図・徳島せぎに使われた板関のもけい</p>	<p>徳島堰の写真を見ながら、前時にしたことや興味を持って調べてきたことを発表する。</p> <p>いつ ・今から 300 年以上前、お侍さんの時代 どこで ・葦崎市の釜無川からから曲輪田新田まで 17km 誰が ・徳島兵左衛門、矢崎又右衛門 どうして ・水不足の地域に水を届けるため</p> <p>地図を見ながら、白根百田小の位置などから、取水口の場所や流路など確かめる。</p> <p>徳島堰が暴れ川である御勅使川を横切っていることに気づく。</p> <p>御勅使川をどうやって横切らせたのか白い紙に絵をかきながら、予想をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンネルをつくって通す ・御勅使川の水をせきとめる ・水の渡る橋をつくった <p>絵を提示しながら、意見の交換を行い、多様な友達の考えを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんな方法もあったのか? すごい? <p>史料で確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御勅使川の水まで一緒にするなんて水は大事だったんだな。 ・板だけで、台風の際は大丈夫かな? ・今はトンネル(あんきょ)なんだ。 <p>ワークシートに感想をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の人の知恵はすごい。 ・こんなに大変な工事をしても、水を得ることは大切だったんだな。 ・堰のまわりの村では作物が前よりいっぱい取れるようになったのかな?

徳島堰を題材とした社会科の授業の史料



12 徳島堰

史料①『通史編3近世1』口絵10 徳島堰



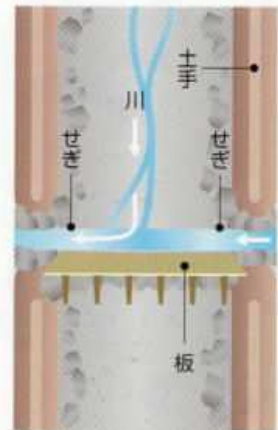
改しゅうしてからのかんがいのようす

史料②『私たちの山梨』p76

図・改しゅうしてからのかんがいのようす

史料③『通史編3近世1』p878

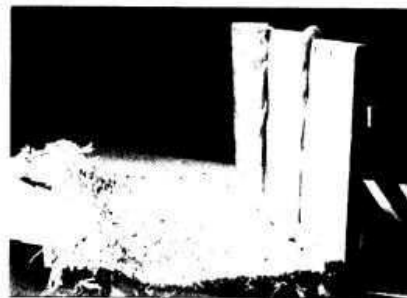
さらに、最大の難工事は、御勅使川を横断させることで、これは板関（一間四方の板三〇枚を牛枠で支える工法）で実現させたという。いずれにせよ、この四力所の難所普請のため、経費がかさんだのは事実であろう。



板せき

史料④『私たちの南アルプス市』

p125 図・板せき



徳島せきに使われた板関のもけい（板関は、川底にむしらなしき、川のなかおに板をならべ、そのうしろを、舟に似た木でささえ、上でかためる方法です。）

史料⑤『私たちの山梨』p76

図・徳島せきに使われた板関のもけい